パスキーの登録方法（iOS）

事前準備

パスキーの登録を行いたいスマートフォン（iOS）を用意する。
iOS が 16 未満の場合は、アップデートする。
個人の Apple アカウントでサインインしていることを確認する。
iCloud キーチェーンを「オン」にする。
パスワードとパスキーを自動入力、を「オン」にする（推奨）

【iCloud キーチェーンを「オン」にする】

パスキーを登録する際の Apple アカウントは、**個人の Apple アカウント**です。
下記の手順①で、【大学のメールアカウント（～@iawte-u.ac.jp）で取得した Apple アカウント】が表示されている場合は、一度サインアウトし、個人の Apple アカウントに切り替えてください。

設定＞Apple アカウント＞パスワードとキーチェーン へアクセスする。
「iCloud パスワードとキーチェーン」で「この iPhone を同期」を「オン」にする。



※画像は iOS 26.4.2 の場合

【パスワードとパスキーの自動入力を「オン」にする】

パスキー登録自体に必須ではありませんが、登録したパスキーの自動入力に必要になるため、「オン」にしておくことを推奨します。

（※本手順書では、「オン」である状態で説明しています）

設定＞一般＞自動入力とパスワード へアクセスする。

自動入力をオンにし、「自動入力の取得元」で「パスワード」をオンにする



パスキーの設定方法

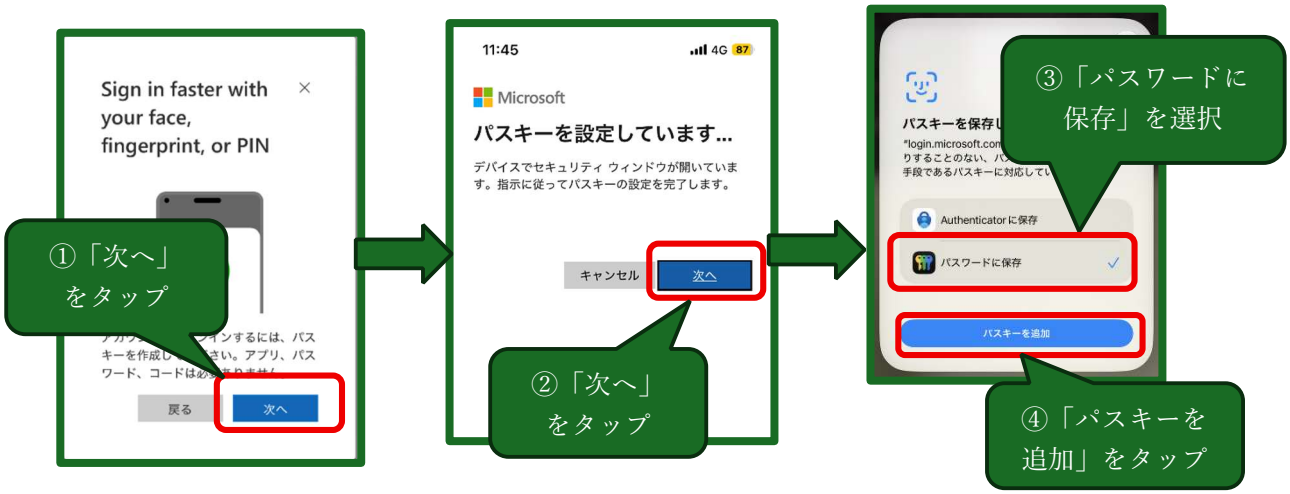
1. 下記の URL をタップすると、ブラウザが起動しサインイン画面が表示されますので、**「パスキーを登録したい岩手大学 Microsoft アカウント（～@iwate-u.ac.jp）」**でサインインし、セキュリティ情報画面を開きます
   https://mysignins.microsoft.com/security-info

   多要素認証の認証画面が表示されたら、認証を行ってください
   （多要素認証の認証方法はこちらを参照してください→多要素認証方法）

2. 「サインイン方法の追加」をタップし、「パスキー」をタップする



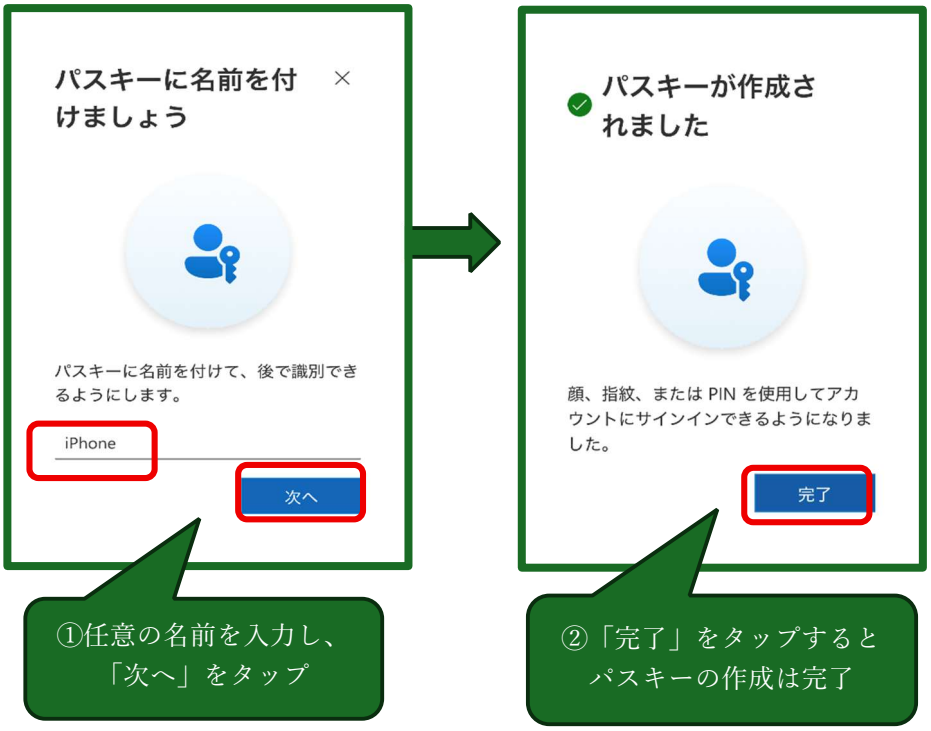
3.「次へ」をタップし、「パスキーを保存しますか？」画面で「パスキーを追加」をタップする（※必ず「パスワードに保存」を選択してください）



4. パスキーに名前をつけて、パスキーを作成する

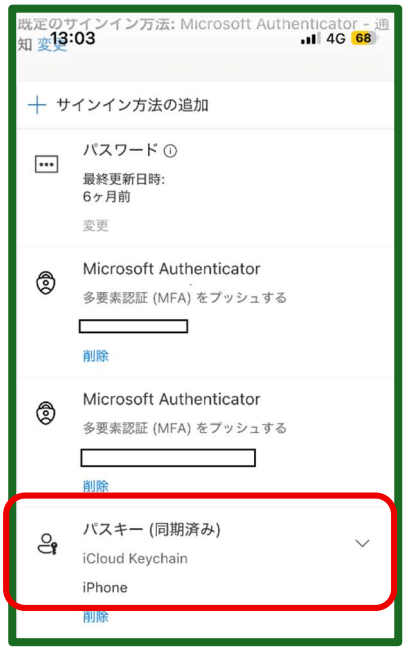
パスキーは、パソコン A、パソコン B、スマホ、など、複数の端末ごとに登録することができるため、判別しやすい名前をつけましょう。

（例：コンピュータ名、デバイスの種類、「iPhone〇〇」など）



5. パスキーが登録されたことを確認する

「セキュリティ情報」ページで、パスキーが追加されていることを確認します。



パスキーを使用してサインインできることを確認する

パスキーの登録後、アカウントから一度サインアウトし、パスキーの認証によってサインインできることを確認してください。

①アカウントからサインアウトし、ブラウザを閉じます



②改めてブラウザを起動し、下記の URL にアクセスします。
「https://mysignins.microsoft.com/security-info」
先ほどパスキーを登録したアカウント情報を入力し、サインインを行ってください。
※Authenticator による認証を求められた場合は、「Microsoft Authenticator アプリを現在使用できません」をクリックしてください。





【パスキーを使用してサインインしますか？】と確認画面が表示されたら、「パスキーを使用」をタップします。



サインインが完了すれば、確認は終了です。以降は、キーチェーンに保存したパスキーを利用して多要素認証を行うことが可能です。